

タイムス
少年サッカー

レベル高い個人技

優勝のセダック 自由な発想でプレー

市民タイムス少年サッカー新人戦・カガミカップは、セダック(松本市)が初優勝を飾り、小学五年生以下の新チームで編成した、県内64チームの頂点に立った。豊科南(安曇野市)も3位と健闘した。全体的に後半に運動量が落ちるなどの課題もあったが、レベルの高い個人技を見せるなど、来季に向けての期待が膨らむ大会となった。

準々決勝以上は接戦が多く、好機を逃さなかったチームが勝ち上がった。中でもセダックの選手たちは、ゴール前で冷静にコースを見極めてシュートを放っていた。

準々決勝は、セダックが序盤から得点を重ねた。細かくパスをつないでディフェンスを崩したり、一対一の場面で果敢にドリブルで突破したりと、自由な発想のサッカーを展開した。今井典良監督は「ボールコントロールの練習を積み重ねてきた。個人技には自信がある。練習の成果を発揮してくれた」と選手の健闘をたたえた。

試合結果

▽3位決定戦

豊科南2 (11) 0 諏訪

▽準決勝

セダック0 (00) 0 豊科南

PK3-1

長野方0 (00) 0 諏訪

PK4-2

▽準々決勝

セダック2 (20) 0 中野

PK5-4

豊科南2 (02) 0 筑摩

PK3

長野方0 (00) 0 松本



準優勝した長野方

3位の豊科南サッカークラブ

閉会式では上位4チーム